

恵方とは？

恵方とは、歳徳神(としとくじん)と言う、
神様が**いらっしゃる方角**の事を指しています。
歳徳神さまは、年の初めに祀る神様で、その年の**福德を司っている神様**です。

方角の決め方は、非常にややこしいのですが、分かれば簡単です。
しかも、**恵方は4つの方角しかありません。**
その年の恵方を決めるのに使っているのが、

甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

(こうおつへいていぼきこうしんじんき)・・・**十干(じっかん)**

十二支はたいてい、ご存知だと思います。

子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥(ねうしとらうたつみうまひつじさるとりいぬい)
・・・**十二支(じゅうにし)**

簡単に言うと、
年賀状に使っている十二支の10個版というのが十干です。
「今年の十干は何？」が分かれば、**恵方はすぐに分かります。**
十二支は
2013年は己(み)、2014年は午(うま)ですね。
十干は
2013年は癸(みずのと)、2014年は甲(きのえ)となっています。
癸巳(みずのとみ)、甲午(きのえうま)というように、続けて言ったりします。

恵方は十干ごとに決まっていますので、以下の表で見てください。

年の十干	16方位
甲(きのえ)・己(つちのと)	東北東やや右
乙(きのと)・庚(かのえ)	西南西やや右
丙(ひのえ)・辛(かのと) 戊(つちのえ)・癸(みずのと)	南南東やや右
丁(ひのと)・壬(みずのえ)	北北西やや右

すると、2013年は癸(みずのと)ですから「南南東やや右」、
2014年は甲(きのえ)ですから「東北東やや右」となります。

「やや右」が付いている理由

恵方の説明で「**やや右**」と付いているので不思議に思われていないでしょうか？

なぜ、「やや右」が付いている理由は、
西洋式の16方位と中国式の24方位の**ズレ**があるためです。

中国式で決まる恵方を、西洋式で正確に表そうとするので、
「やや右」と書いています。

2014 年～2024 年の恵方はコチラ

来年以降の恵方は、このようになります。

西暦(年号)	十干	恵方
2014(平成 26 年)	甲(きのえ)	東北東やや右
2015(平成 27 年)	乙(きのと)	西南西やや右
2016(平成 28 年)	丙(ひのえ)	南南東やや右
2017(平成 29 年)	丁(ひのと)	北北西やや右
2018(平成 30 年)	戊(つちのえ)	南南東やや右
2019(平成 31 年)	己(つちのと)	東北東やや右
2020(平成 32 年)	庚(かのえ)	西南西やや右
2021(平成 33 年)	辛(かのと)	南南東やや右
2022(平成 34 年)	壬(みずのえ)	北北西やや右
2023(平成 35 年)	癸(みずのと)	南南東やや右

まとめ

節分に恵方巻という風習は、昔は**関西圏のみ**でしたが、最近では、大手のスーパー、コンビニなどでも買えるようになり、全国区となりました。

節分時に食べたことはなくても、見たり聞いたことはある方が多いと思います。海苔業界が仕掛け人とか言われたりしていますが、昔からある、日本の伝統的行事などは、マスメディアなどが発達した現代ではもっと、全国に広がった方が僕は良いと思います。